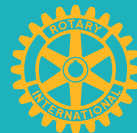




ロータリー：
変化をもたらす

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



会報

2017 ▶ 2018
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

親睦と奉仕で作る友の輪

会長／森 幹雄 幹事／阿部 洋一

プログラム

●本日

「PETS 報告」

会長エレクト 大嶋 孝広 会員

会員誕生日

青 山 貴 幸

結婚記念日

燕 美 雪
高 田 潔

●次週予定

－法定休会－

No. 2775

第28回 3月14日

出席報告

前
例
会

会員総数……………34名
出免会員…………… 4名
出免出席…………… 3名
基準会員出席…………17名
出席率…………… 57.14%

前
々
会

第25回 2月21日

欠席会員……………16名
内メイクアップ…………11名
修正出席率…………… 85.71%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F



会長報告……………

1. 千歳ロータリークラブより創立50周年記念
式典及び祝賀会の案内を頂きました。

ゲスト

株式会社ニチレイ

北海道支社長 片岡 恵美様



幹事報告……………

- 妹背牛ロータリークラブ、深川ロータリークラブより2月会報、3月例会プログラムを受領しました。
- 砂川ロータリークラブより3月例会プログラムを受領しました。
- 先週の例会で台湾地震義援金の募金箱を回しましたが、先週の例会を欠席された方、入れるのを忘れた方のために本日も募金箱を回します。前回すでに26,000円集まっております。ご協力をお願い申し上げます。



ニコニコBOX……………

- 昨日の悪天候の中、留萌へお越し頂きありがとうございました。本日の卓話楽しみにしています。 森(幹)会長
- 北海道暴力追放推進協議会会長表彰を頂きました。 辻本会員
- 新しいお店をオープンしました。 渡邊会員

前 回	663,079円
今 回	37,000円
累 計	700,079円

 プログラム……………

「冷凍食品裏事情」

株式会社ニチレイ

北海道支社長 片岡 恵美様

株式会社ニチレイの片岡でございます。本日はお招きに預かり誠にありがとうございます。

本日のテーマは冷凍食品の裏事情となっておりますが、ニチレイという会社を通して、冷凍食品について皆さんがご理解を深めていただければと考えています。

まず初めに、本題に入る前に冷凍食品のイメージについて皆様方がどの様に思っているかという事ですが、あまり良いイメージを持たれていないような感じが致します。しかし現在の冷凍食品は、食品のカテゴリーの中で大変注目を浴びているカテゴリーでございます。以前は冷凍食品と申しますと、留萌でもそうだったと思いますが、魚を冷凍するとか、保存を考えての冷凍食品でした。しかし現在は、変化するライフスタイルに合わせて進化をしており、簡単便利・味・質ともに消費者の皆さんに認めていただくために日々進化をしております。安かろう、悪かろうのイメージから、一段も二段もステップアップして、忙しい女性の方々や人手不足の企業の解決に役だっており、存在価値を高めている事を付け加えて、本日のお話をさせていただきます。

まず私の経歴ですが、94年入社という事ですが、ほぼ営業をさせていただいております。入社後営業に携わっていましたが、2007年に東京の丸の内にあります経済同友会に出向を命ぜられ、日本の教育問題についてレポートを書きなさいという事で、こちらの方に2年間出向致しました。その後、伊藤忠商事に1年出向して、ニチレイに帰任致します。ニチレイフーズでは冷凍和菓子の企画会社を立ち上げてくれたの依頼から、社員3名という非常に小さな会社を作り、社長に就任いたしました。ここで2年半、冷凍和菓子の企画会社を運営しまして、ニチレイフーズに帰任しました。ここでは営業を担当しなさいという事で、広域事業部の生協営



業部長を2年務めました。その後の2015年から北海道支社長を拝命し、現在に至っております。

続いてニチレイについて少しお話をさせていただきます。創立は昭和20年12月1日、資本金303億円、売り上げは約5400億円となっております。従業員は14,682人です。ニチレイは現在ホールディング制をひいており、4つの事業会社からなっております。私が所属しているニチレイフーズは加工食品の会社です。ニチレイフレッシュというのが水産畜産。ロジグループというのが、低温物流の会社。バイオサイエンス。不動産もホールディングの方でやっております。だいたい4つの事業からニチレイが出来ていきます。加工食品部門が約37%を占め、ニチレイの会社の中では非常に大きな位置をしめています。加工食品の中身では、29%が家庭用、実は業務用の比重が非常に増えており、ホテルや産業給食、総菜売り場で使われている物デリカではほとんどがこちらの商品になります。冷凍食品の市場ですが、1兆円市場と言われており、昭和43年から平成28年までのデータですが、中国産のギョーザ事件があった時には、少しマーケットが縮小しましたが、その後順調に推移をしています。参考に少し古いデータですが国民1人当たりの冷凍食品の消費量のデータがあります。約20kg超の消費量があります。実はこれは女性の社会進出も関係していると思いますが、欧米の先進国では日本と倍以上の開きがあり、まだまだ消費量が伸びると予想されます。

メーカーシェアですが、1位がマルハニチロさんで、3位はテーブルマークホールディングス、昔の加ト吉さんです。その後に味の素冷蔵

さん、日水さんが続きます。

ここで冷凍食品の歴史を少しお話をさせていただきます。そもそも冷凍食品のルーツは、北海道に大変縁があります。大正9年に北海道の森町で魚の冷凍事業が軌道に乗り、日本での冷凍事業が本格化したのが始まりです。実は私どもニチレイフーズの森工場がございまして、そこに冷凍食品発祥の地の石碑が建っております。昭和に入りまして、家庭用電気冷蔵庫が発売されますが、実は冷凍食品の発展はこの冷蔵庫と電子レンジの発展と共にマーケットが広がっていきました。昭和17年に帝国水産、統制会社を作られます。その後民営化という形で、日本冷蔵という名前で昭和20年再スタートいたします。その後、昭和27年に学校給食がスタートすると共に、日本のお子様方に十分な栄養を取っていただきたいと、この冷凍技術が使われたと聞いています。この頃、私ども日本冷蔵、現在のニチレイフーズが初めて調理冷凍食品を作って発売いたします。1956年、南極観測隊の食料としてニチレイフーズの商品が使われることとなります。昭和38年、ダイエーさんが冷凍食品の売り場を設置され、昭和39年に東京オリンピックが開催され、このオリンピックの選手村や来場者に帝国ホテルの料理長さんが作った冷凍食品が使われ、これにより冷凍食品の使用に拍車がかかります。これにより冷凍食品の普及が進みましたが、実は冷凍食品を運ぶ冷凍の貨物車がありませんで、ニチレイが独自に冷凍車を開発してしまいます。昭和44年に2ドア式の家庭用冷蔵庫が発売されます。昭和45年に万博が開催され、飲食店の中でもたくさん出され、ファミリーレストランの展開の契機にもなりました。

昭和60年に日本冷蔵からニチレイに社名を変更し、平成5年電子レンジの普及率が80%を突破しまして、この頃に電子レンジで温める製品を我が社で開発を致しました。電子レンジで温めるコロッケなど、今では当たり前の様になっておりますが、家電製品の発展と共に商品がどんどん発売されていきます。先ほどギョウザ事件の事に触れましたが、2000年に入りまして中

国の野菜の問題ですとか、品質強化の問題とかで、冷凍食品の会社が一齐に品質強化の問題に乗り出します。次の年に私どもの会社の基幹商品となっております「本格炒めチャーハン」が発売されます。この4年後に我が社が4つの事業会社からなるホールディング化がなされました。この頃から海外への進出が加速化され、冷凍食品の品質が格段に上がっていきます。これは我が社だけでなく他社も品質向上に力を入れていきます。

それでは品質向上で、おいしさの追求とはどんな事をするのかと言いますと、圧倒的なおいしさを追求するという事で、料理人の作る料理を忠実に再現をしていく事を目指し、調理工程を忠実に工場再現する事に力を注いでいます。例えば、この本格炒めチャーハンは、実は17年間チャーハンカテゴリーでは、ずっと1位をキープしています。2001年以前は、調理したお米と具材を混ぜ合わせるだけの炊き込みチャーハンというのがほとんどでしたが、2001年に初めて本格的に炒めるという工程を採用しております。チャーハンではプロが作るチャーハンはお米の部分で、外側に卵のコーティングがされており、この部分を我々が再現しようと考え、これによりご飯のパラパラ感が実現されました。2015年に本格炒めチャーハンをリニューアルし、熱風あおり飯製法とあって約250度以上の空間を再現してご飯を炒めています。しかし何故これが250度かと申しますと、料理人さんに作っていただいた時に温度をしっかりと測りまして、科学的にデータで取り込みまして、圧倒的なこの250度の高温熱風を実現いたしまして、もう一つチャーシューを自社工場で作る、その煮汁をチャーハンの中に入れる。また焦がしネギ油なども自社工場で作ってチャーハンに入れており、大変手の込んだ冷凍食品となっております。皆さんにはぜひ機会がありましたらお召し上がりください。

世界に友達の輪を広げましょう

新会員の皆さま、いろいろなところで「国際ロータリー」とか「R I」という言葉を聞いたり、見たることでしょう。R IはRotary Internationalの略で、その日本語訳が国際ロータリーです。国際ロータリーはアメリカ・イリノイ州エバンストンに本部を置く国際的な組織で、皆さまが所属しているロータリークラブが、その会員です。そして、皆さまは、そのロータリークラブの会員ということになります。

少し話がややこしくなりましたが、国際ロータリーとご自分の関係を理解いただけましたでしょうか。入会間もないころは、自分が所属しているクラブの例会に出席したり、奉仕活動に参加したりするだけで精いっぱいかもしれません。

10月号の本欄にも書きましたが、少し余裕ができたなら、ほかのクラブの例会にも出席してみてください。しかし、国内のクラブを訪問しているだけでは、なかなかロータリーの国際性を理解することができないと思います。

200以上の国と地域にロータリークラブがあります。国籍や言語が違っても、それらのクラブに属している会員は、すべて皆さまの仲間なのです。

「仲間と言われても……」、実感がわきませんよね。それなら一度、R I国際大会に参加してみてください。いろいろな民族衣装を着た肌の色や言語の違う人たちがたくさん参加しています。そして、手ぶり身ぶりを交えながら親しそうに話している光景を目の当たりにすることでしょう。



「House of Friendship (友愛の家)」には、地区やクラブのブースがあり、自分たちが実施しているプロジェクトを紹介しています。ロータリー親睦活動グループは国際的な組織で、複数の国のメンバーが所属していますが、それらのブースもあります。自分と同じ趣味を持った人たちのグループがあれば、そのブースに立ち寄ってみてください。皆さんも、そのグループに参加することができます。

会場内を歩いていたり、友愛の家で食事をしたりしていると、知らない外国人から声をかけられることがあります。「ダメ、ダメ」なんて言って逃げ出さないでくださいね。英語が苦手でも、「ハロー」とか「ハイ」とにこやかに返しましょう。あとは日本語で大丈夫。言葉は通じなくても心は通じます。

ところで、国際大会というと会長や幹事、またはベテランの会員が参加するもので自分たちには関係ないと思いませんか。決してそんなことはありません。国際大会には20代や30代の若いロータリアンがたくさん参加しています。入会して数か月のロータリアンも参加しています。本会議のほかにテーマ別の分科会が開催されますが、そこにはこれらの若い会員、新会員たちもたくさん参加して、自分の経験や意見を積極的に発表しています。

次の国際大会は、来年6月、アメリカ・ジョージア州アトランタで開催されます。ロータリー財団100周年を祝う大会でもあります。登録は「My Rotary」www.rotary.orgでできます。詳細は、先輩会員にお尋ねください。「せっかくアメリカまで

来たのだから観光も大事」と思われるでしょうが、ちょっと我慢して本会議や分科会に出席してみてください。普通の観光では得られない貴重な経験ができると思います。ホスト組織委員会主催のイベントも予定されていますが、それらに参加すると、アトランタの本当の良さを知ることができると思いますし、新しい友人ができることと思います。ロータリーの国際性を味わい、楽しんでください。

『友』編集長 二神 典子